

2020岡山市芸術祭

# 岡山市民の文芸

第52回岡山市民文芸祭受賞作品

## ジュニアの部

### 【詩】

◎岡山市長賞

該当作品なし

◇岡山市教育委員会教育長賞

### 生涯剣道

江 藤 春 道（御野小五年）

剣道は登山だ

登山は朝早くからはじまる

登山はみんなですいているがなかなか進まない。みんなまだ登りはじめだ  
頂上なんてまったく見えない。でも登らなければ全てが水のあわだ

みんな道はちがっていても

目指すところはいつしよだ

先生はずいぶん先に進んでいる

仲間が先にいつてあせることもある

それは努力だ、ゆつくりでいいから確実に登ろう、早く登りたいからどんどん登ろう、  
進む速さはそれぞれの努力の証しだ

ずっと一人で登る人はいない

だれか仲間、親、先生といっしよに登る

うまく登れないときはひっぱってもらったりおしてもらおう

病氣とかけがとかで後退するときもある

でもロープウエーみたいにするはできない

手をかしてもらうこともある

でも毎日助けてもらうわけにもいかない

自分で登ったり

ちよつと下がったり

雪崩にまきこまれてずっと登れなかったり

なにがあるかはまだわからない

どっちに進むかは自分できめる

道も自分できめる

自分で進んでいく

わざと下がって他の道にいったりもする

できるだけいねいに登る

ざつに登るとあぶないめにあう

登山は、楽しくないときもある

でもあきらめない

登り方はいっぱいある

自分にあつた登り方もいっぱいある

ちよつと休けいもする

けがだつてする

いろんなことがあるけど

登りきったらきつとなにかがある

たからもの

田之村 若 奈(第二藤田小二年)

わたしのいもうとなきむしだ だっこだっこうるさいよ でもちゅうしゃではかないつよい女の子なんだ

それにわたしがわるいことをしているとちゅういしてくれるかしこい子 そうじだつてじぶんからしてくれるやさしい子 でもこはんはこぼすばかりよごしちゃう

いっしょにふざけあつたのしいな かぞくぜんいんわらっちゃうたのしいな でもおもしろすぎていえ中をはしりまわるとお母さんがカンカンだ 二人いっしょにこめんなさい でもやっぱりやめられない

おふろいっしょにパチャパチャピチャ わたしが体をあらってあげる わきをあらうとわらうんだ こけないように気をつける

わたしといもうとにでるとこ 大きな声と丸いはな

わたしといもうとすきなこと 虫とりぬりえやめられない

わたしといもうといやなもの なすとピーマンのこしちゃう

わたしといもうとすきなおやつ チョコとアイスとりあいだ

お母さんのおひざとりあいっこ わたしはがまんいもうとどうぞ でもたまにはわたしがかつちやうぞ

ねる時だつてぜったいいっしょ ゆめでもあそべるたのしいよ でもねている時にけられちゃう イッテッテ

ぜんぶぜんぶたのしそう

二人でいっしょにたのしいよ

ぜんぶぜんぶうれしそう

二人でいっしょにうれしいよ

ぜ一んぶぜ一んぶいっしょだよ これからもぜったいいっしょだよ

小さな小さなたからもの

たのしいわたしのたからもの

## 【短 歌】

### ◎岡山市長賞

土の中今はひかりが見えずともいつか這い出て夏空めぐる

横 井 潤 (芳泉中二年)

### ◇岡山市教育委員会教育長賞

棒が揺れマットにダイブしてみれば太陽笑う見守るように

野 上 彩 羽 (岡山後楽館中二年)

おじいちゃん来年もきてね待ってるよ姉ちゃん達と送り火をたく

宮 島 友 也 (芳泉中二年)

## 【俳 句】

### ◎岡山市長賞

トス上げて入道雲に襲われる

内 藤 駿 介 (岡大附中三年)

### ◇岡山市教育委員会教育長賞

リモートではずむ会話の夏休み

合 田 南 翔 (吉備中二年)

教室のメダカ気になる夏休み

楠 木 す み れ (福田小五年)

## 【川 柳】

### ◎岡山市長賞

ありさんにいつてきますとこえかける

大 海 心 暖 (福田小二年)

### ◇岡山市教育委員会教育長賞

3年生それでもギユは安心する

八 藤 空 我 (福田小三年)

帰り道友と話すはゆめのこと

村 上 琴 音 (福田小五年)